

薬物治療学Ⅴ

Pharmacotherapy Ⅴ

薬：E3-10412MY

医療科目 4 年／前期 1.5 単位 必修科目

科目責任者 野澤 玲子(薬理学研究室)

■教育目的

がん(悪性腫瘍)の病態を把握し、病態に応じたがん化学療法、緩和ケア療法に関する最新の知見を学び、がん治療(支持療法・栄養療法を含む)における薬剤師の役割を理解する。【卒業認定・学位授与の方針：YD-②・③】

■学習到達目標

1. がん(悪性腫瘍)の疫学、病因、病態について説明できる。(知識・技能)
2. 代表的な悪性腫瘍に対する薬物療法、がん医療におけるチーム医療について説明できる。(知識・技能)
3. 支持療法、栄養療法の概念と基本的事項について概説できる。(知識・技能)
4. 緩和医療・がん疼痛治療について説明できる。(知識・技能)

■準備学習(予習・復習)

予習：病態生理学・薬理学を基に、該当項目に関する予備知識を得、必要に応じてノートを作成する(30 分)。

復習：講義プリントに則して、内容を復習するとともに、関連事項について興味を持ち知識を深める。(60 分以上、適宜)

■授業形態

講義

■授業内容

本講座は、大きく3部門に分かれており、悪性腫瘍に対する医療(非薬物治療・薬物治療)の概要と主な治療法、次に支持療法及び輸液・栄養療法に関する知識を習得する。更に、緩和ケア療法の概念、あり方、治療の実際を学ぶ。

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	悪性腫瘍総論 1	がん化学療法総論(含、疫学、臨床検査値の解釈)	E2(7)-⑦-1～3 E2(7)-⑧-4 E2(7)-⑩-1
2	悪性腫瘍 1	肺癌(非小細胞癌、遺伝子変異に基づいた個別化治療)	E2(7)-⑧-9
3	悪性腫瘍 2	肺癌(小細胞癌)、頭頸部癌、脳腫瘍	E2(7)-⑧-9,10
4	悪性腫瘍 3	胃癌、食道癌、肝・胆道系癌、膵臓癌	E2(7)-⑧-8
5	悪性腫瘍 4	大腸癌、腎・尿路系悪性腫瘍	E2(7)-⑧-8,12
6	悪性腫瘍 5	乳癌、生殖系(前立腺癌・子宮癌・卵巣癌)悪性腫瘍	E2(7)-⑧-11・13
7	悪性腫瘍 6	造血器腫瘍 1(白血病、悪性リンパ腫)	E2(7)-⑧-5,6 E2(8)-③-3
8	悪性腫瘍 7	造血器腫瘍 2(多発性骨髄腫)、骨肉腫	E2(7)-⑧-7
9	悪性腫瘍 8	抗悪性腫瘍薬の副作用軽減対処法(支持療法)	E2(7)-⑧-3
10	輸液・栄養 1	栄養療法の概念と基本的事項	F(3)-③-5,6
11	輸液・栄養 2	栄養療法の実際	F(3)-③-5,6
12	緩和ケア 1	がん疼痛の分類・機序、痛みの評価 WHO 方式がん疼痛治療法	E2(7)-⑨-1 E2(1)-③-2
13	緩和ケア 2	麻薬性鎮痛薬と WHO 方式がん疼痛治療法の実際	E2(7)-⑨-2
14	緩和ケア 3	オピオイドの副作用とその対策	E2(7)-⑨-2
15	緩和ケア 4	鎮痛補助薬、緩和における症状管理	E2(7)-⑨-1,2

■授業分担者

杉 富行(No.1～5)、前田英紀(No.6)、安 武夫(No.7～11)、野澤 玲子(No.12～15)

■課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法

学期末試験成績(100 %)で評価する。

■教科書

講義プリント

■参考書

『臨床腫瘍薬学第2版』日本臨床腫瘍薬学会 編集(じほう)

胃癌、大腸がん、乳がん、肺がん、造血器腫瘍、制吐剤適正使用、等各診療ガイドライン

